

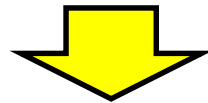
子どもと子育て世代のために
自治体が努めていること
求められていること

～三鷹市の子育て支援から～

前三鷹市長 清原 慶子

基礎自治体が直面している課題

- ◆ 少子長寿化の進展のなかで
暮らしの基盤である地域社会の＜持続可能性＞の確保
- ◆ 住民本位の地方自治の実現に向けて、地域生活の各分野での
住民と行政との相互信頼に基づく＜市民参加と協働＞の推進
- ◆ 多様な主体、多様な世代の、多様な機会での＜交流と自己実現＞



基礎自治体が進める政策については子育てをする「おとなの視点」だけではなく「子どもの視点」にこそ立って「民学産公官の協働」で構想し、その実現を目指すべき！

三鷹市の位置と概況

- 市制施行日：昭和25（1950）年11月3日
- 面積：16.42km²
- 人口：188,072人（2019年5月1日）
- 世帯：94,536世帯（2019年5月1日）
- 勤労者が多く居住する住宅都市
- 副都心新宿からJR中央線で15分
- 地方交付税の不交付団体
- 予算規模：約1,100億円（一般会計及び特別会計）
- 平均寿命が長く高齢者の独居や二人暮らしが多い
- 近年ファミリー層が増加傾向

都立井の頭恩賜公園

三鷹の森ジブリ美術館

三鷹市の場所

三鷹市政の特徴

- ★1956年：日本初〇歳児保育開始
- ◇1973年：日本初公共下水道整備100%達成
- ◇1973年：日本初住民協議会によるコミュニティセンター運営
- ◇1984年：日本初光ファイバー網利用
高度情報通信ネットワーク実験
- ◇1997年：「SOHO CITY みたか構想」
- ★2001年：日本初株式会社への委託による
公設民営保育開始
- ◇2004年：世界レポート連合情報都市づくり世界トップ1
- ◇2006年：『自治基本条例』『男女平等参画条例』施行
- ★2006年：コミュニティスクールを基盤とした小中一貫教育開始

三鷹市自治基本条例 前文

平成18（2006）年4月施行

主権者である市民の信託に基づく三鷹市政は、参加と協働を基本とし、市民のために行われるものでなければならない。市民にとって最も身近な政府である三鷹市は、市民の期待に応え、市民のためのまちづくりを進めるとともに、まちづくりを担う多くの人々が、参加し、助け合い、そして共に責任を担い合う協働のまちづくりを進めることを基調とし、魅力と個性のあふれるまち三鷹を創ることを目指すものである

協働とは？

多様なグループ・団体と市が、自治に関わる地域の目標を共有し、それぞれの役割分担を明確にし、対等の立場で相互協力をしながら、それぞれの特性を最大限発揮し、その実現のために共に汗をかき、評価や改善も共に行っていくこと

大人と子どもの共通目標

三鷹市子ども憲章＜2006年制定＞

- 1 **み** んなでつくる 三鷹の未来
- 2 **た** すけあい いじめをなくそう 勇気を出して
- 3 **か** ながえて 行動しよう マナーとルール
- 4 **の** こそう自然 三鷹らしさを いつまでも
- 5 **こ** まったら 相談しよう まわりの人に
- 6 **ど** の人も あいさつかわす まちにしよう
- 7 **も** っている みんなのいのち 大切に

三鷹子ども憲章

- 1 **み** んなでつくる 三鷹の未来
わたしたちは、子どもの個性と人権が守られ、笑顔があふれる明るいまち三鷹をつくっていきます。
- 2 **た** すけあい いじめをなくそう 勇気を出して
わたしたちは、いつも思いやりの心をもって助けあい、勇気を出していじめや暴力をなくしていきます。
- 3 **か** ながえて 行動しよう マナーとルール
わたしたちは、社会の一員としてマナーを身につけ、ルールを守り、お互いに気持ちよく過ごせるよう考えて行動していきます。
- 4 **の** こそう自然 三鷹らしさを いつまでも
わたしたちは、郷土三鷹を愛し、三鷹らしい自然環境と地域の伝統・文化を次の世代に伝えていきます。
- 5 **こ** まったら 相談しよう まわりの人に
わたしたちは、困ったときは、家族や友だち、先生など、まわりの人に相談できるよう、ふれあう機会を大事にしています。
- 6 **ど** の人も あいさつかわす まちにしよう
わたしたちは、だれもが感謝の気持ちをもって、お互いに笑顔であいさつをかわせるまちにしています。
- 7 **も** っている みんなのいのち 大切に
わたしたちは、心も体もすこやかにたもち、だれにもひとつしかない大切ないのちをみんなで守っていきます。

※三鷹市役所ホームページより

本報告の視点・論点

1. 妊娠期からの切れ目のない子育て支援の推進
2. 子育てにおける男女平等参画の推進と
働き方改革及び起業・創業支援
3. 多様な子育て支援の担い手の活躍
4. 求められる施策の方向性

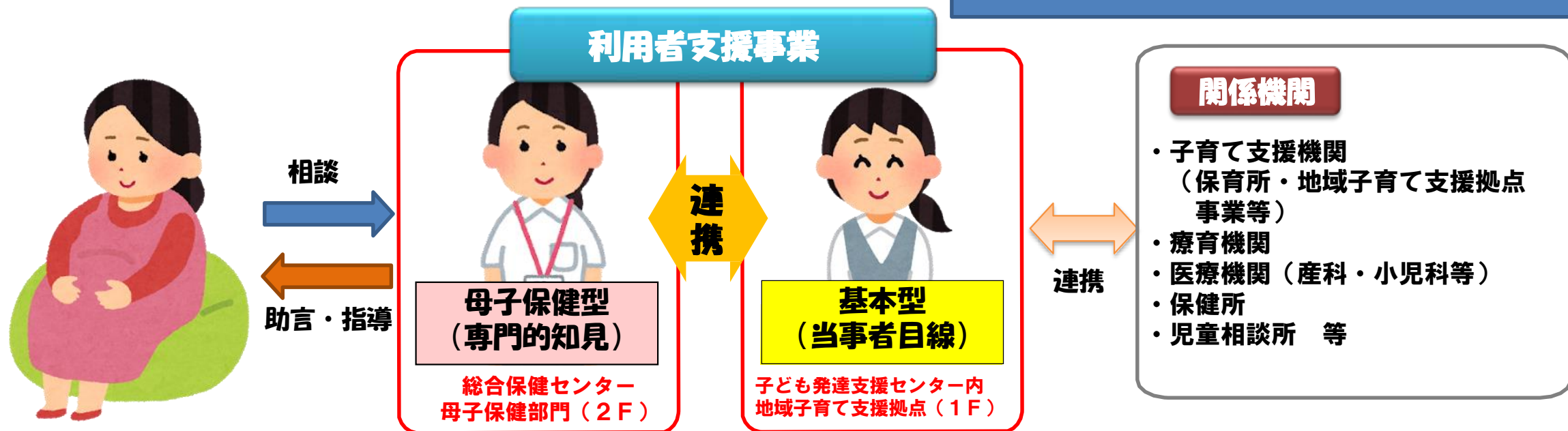
1. 妊娠期からの切れ目のない子育て支援の推進

平成29年（2017年）度OPEN！
三鷹中央防災公園・元気創造プラザ

2階 総合保健センター

1階 子ども発達支援センター

子育て世代包括支援センター機能の中核施設



三鷹市の子育て世代包括支援センター

子育て世代包括支援センターの役割・・・

- ・ 妊産婦や乳幼児等の状況を**継続的・包括的に把握する**
- ・ 妊産婦や保護者からの相談に**専門家が対応する**
- ・ 必要な支援の調整や関係機関との連絡調整を行う

三鷹市では、総合保健センター、子ども発達支援センター、子ども家庭支援センターが連携して、「**子育て世代包括支援センター機能**」を発揮！



ウェルカム ベビー プロジェクト みたかの展開

1. 妊娠中から、赤ちゃんを迎える家族が健康で安心して過ごし赤ちゃんの誕生をイメージすることができる

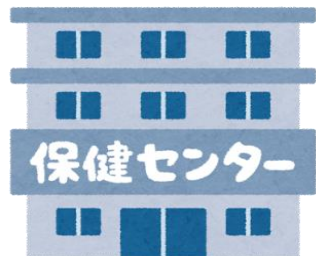
- ・母子健康手帳の交付
- ・妊婦健診
- ・母親学級/両親学級
- ・プレママパパの講習会
- ・乳幼児健康相談
- ・訪問
- ・面接
- ・電話相談

2. 地域の子育てサポートを知り、自分に合ったサービスの活用ができる

- ・出生届等の手続き
- ・育児支援ヘルパー
- ・一時保育
- ・ファミリー・サポート
- ・新生児訪問事業
- ・乳児家庭全戸訪問事業
- ・利用者支援事業
- ・乳幼児健康診査
 - ・予防接種
 - ・マタニティ・ヨガ
 - ・ほのぼのネット

3. 子育てについて学んだり、交流したり、相談できる

- ・ひろば事業
- ・保育園地域開放事業
- ・育児相談・育児講座
- ・プレママ・プレパパ散歩等
- ・おでかけマップ・広報
- ・子育てねっと等子育て情報
- ・利用者支援事業
- ・育メンスタート講座
- ・子育てワークショップ



案内

相談

ゆいかご面接

- ・プロジェクトの案内
 - ・支援プランの作成
- 平成28年度から

妊婦全員対象「ゆりかご面接」

受付：電話での予約制（当日可）

場所：総合保健センター

時間：約 1 時間

実績：平成29年度は1,351人に実施

方法：保健師・助産師・看護師が妊娠届出書、アンケート、面接シートに基づき対話し、適切な情報提供や必要に応じて支援プランを作成

目的：妊娠中の不安の軽減・産後うつや虐待防止

面接を受けた方には、
「こども商品券」を
1万円分贈呈！

個室で、
ゆっくり
お話を聞きます

上の子のために、
おもちゃや本を
用意しています

平成30年度：ゆりかごプラス(産後ケア)の開始

- ◆目的：母親の身体的な回復と心理的な安定を促し、母親自身のセルフケア能力を高める。
- ◆対象者：産後うつを発症しやすい産後4か月頃までの産婦と乳児のうち、家族親族等から十分な支援が受けられない人＜日本版エジンバラ産後うつ自己評価票回収結果：支援が必要な母親約1割＞
- ◆産後のサポート無は約1割、約6割が里帰りせず自宅で過ごす
- ◆ケア内容：母親の心身・適切な授乳ができるためのケア・育児手技についての具体的な指導及び相談等
- ◆小児科医、専門職の支援 ◆午前10時～午後4時まで

2. 子育てにおける男女平等参画の推進と働き方改革と起業・創業支援

三鷹市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28（2016）年3月策定

● 3つの基本目標

基本目標1

子どもたちの健やかな育ちの支援やライフ・ワーク・バランスの実現による、
「親の妊娠期から出産・子育て期の希望を叶えるまちづくり」

基本目標2

コミュニティの創生による、
「市民がともに支え合い、健康で心ゆたかに生活できるまちづくり」

基本目標3

民学産公の協働を通じた地域の活性化による、「持続可能な都市の実現」

総合戦略に基づく 平成28・29年度の取り組み

- ◇平成22年（2010年）3月：
厚生労働省『平成21年度仕事と生活の調和宣言都市』（全国7自治体）
- ◇平成28年（2016年）10月：『三鷹市 生活と仕事の調和推進宣言』
 - （1）市内企業（従業員5人以上）のライフ・ワーク・バランス等に関する実態調査
対象 1,853社 回収 604社 【平成28年度実施】
 - （2）モデル企業9社の働き方改革を支援【平成29年度実施】
 - ア 企業訪問支援
三鷹市の働き方改革アドバイザー 渥美 由喜さんの助言のもと、地域の社会保険労務士が、各企業を2人1組5回ずつ訪問
 - イ 働き方改革モデル企業取組事例発表会【平成30年3月26日実施】
東京電工(株) (株)井関製本 (株)文伸 ユメックス(株)
(有)佐藤清運 (株)まちづくり三鷹
(有)ティアーズコンピュータ NPO法人グレースケア機構

総合戦略に基づく 平成28・29年度の取り組み

(3) ライフワークバランス推進のための講座 (平成30年3月4日)

～市民企画員との協働による取り組み～【平成29年度】

第1部 『育児は仕事の役に立つ「ワンオペ育児」から「チーム育児」へ』

浜屋祐子さん

第2部 「パパの働き方が社会を変える」

吉田大樹さん

子どもたちは、保護者だけでなく地域に見守られている

- ・「ライフ・ワーク・バランス」と「男女平等参画」の視点
- ・祖父母世代の「育じい」「育ばあ」も活躍する多世代参加によって、「子ども子育て支援のまちづくり」を進める視点

◆男女平等参画啓発誌 “Shall We?” vol.66

市民編集委員による

特集：ちゃんと向き合おう！出産をめぐる人生の選択

平成29年度 三鷹市ライフ・ワーク・バランス推進のための市民協働講座

育児は★★★ 無料 当日先着制
保育事前申込制

**仕事と社会の役に立つ
一働き方を考えるヒントー**

平成30年 (開場 12:30)
3月4日[日] 13:00～16:00
会場 | 三鷹駅前コミュニティ・センター

第1部 | 13:05～13:55
**育児は仕事の役に立つ
「ワンオペ育児」から「チーム育児」へ**
講師／はまや ゆうこ 浜屋 祐子さん (株)グロービス研究員
『育児は仕事の役に立つ「ワンオペ育児」から「チーム育児」へ』の著者である講師に、夫婦で担う「チーム育児」の重要性や進め方について、分かりやすくお話しいたします！

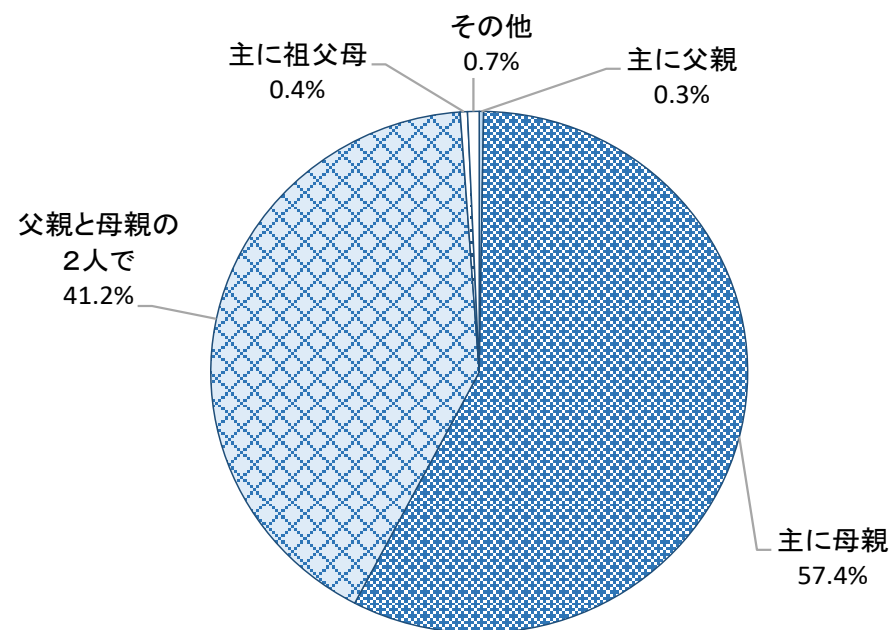
第2部 | 14:00～14:50
パパの働き方が社会を変える！
講師／よしだ ひろき 吉田 大樹さん 労働・子育てジャーナリスト
シングルファザーとしての経験を踏まえた、男性が家事・育児を主体的に担うための課題や秘訣、また、長時間労働をはじめとした「働き方の見直し」に対する具体的な提言をいただきます！



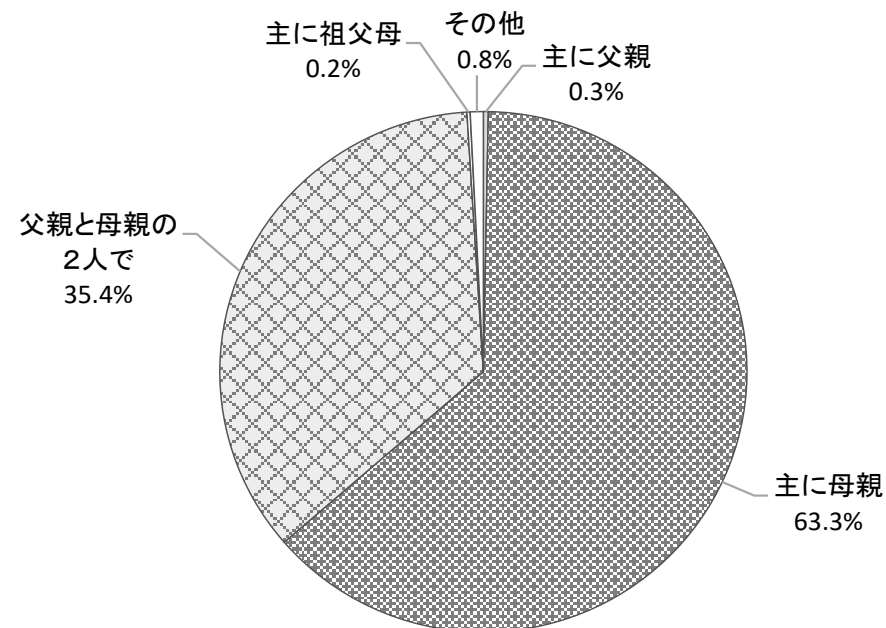
子育ての主な保育者と父親の育児休業

前回調査（2013年9月実施）と比較すると、2018年9月調査では「主に母親」の割合が減り、「父親と母親の2人で」の割合が若干増えており、男性の育児参加が進んでいる状況が読み取れる。

〈今回調査〉



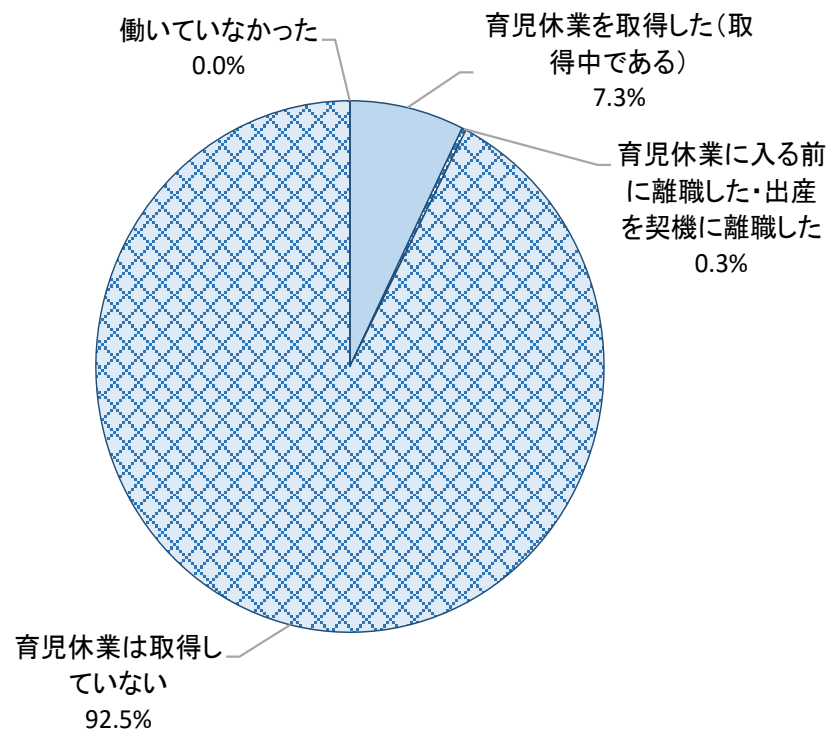
〈前回調査〉



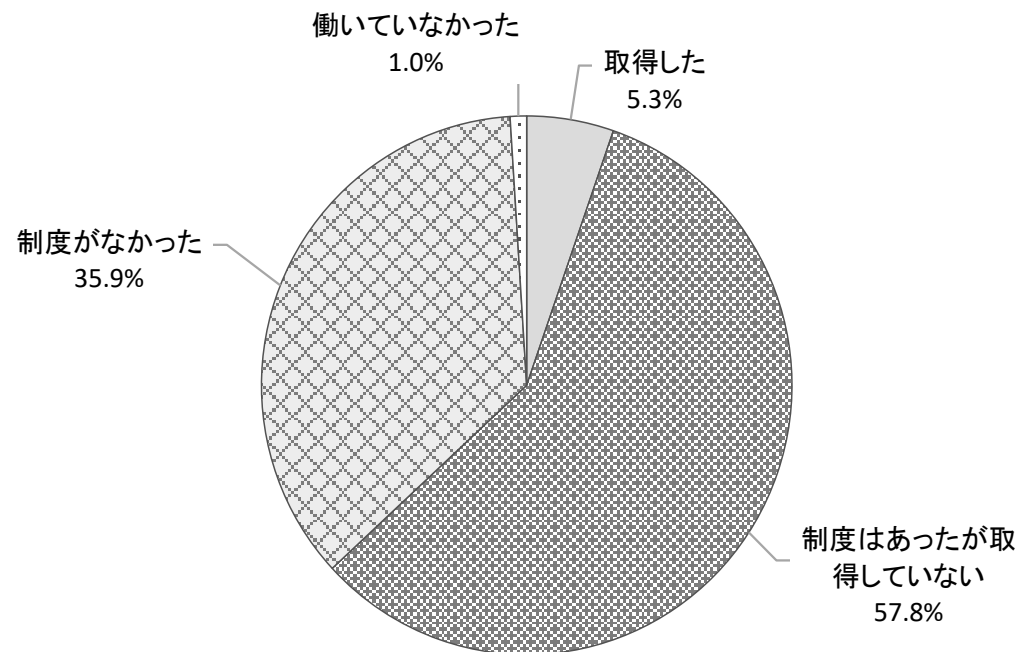
父親の育児休業取得の状況

父親の育児休業の取得状況については、「育児休業を取得した（取得中である）」は**7.3%**となっており、前回調査と比較すると割合は若干増えている。

＜今回調査(n=1,126)＞



＜【参考】前回調査(n=1,085)＞



総合戦略に基づく 平成28・29年度の取り組み

(4)20年前からの「SOHO CITY みたか」の推進、起業支援・創業支援の実績を踏まえつつ、子育て中の市民のライフスタイルに合わせた起業を支援「ファブスペース」における機器及び販売場所の整備、活動のPR

【平成28・29年度利用実績】

新規入会者 113人（H28）、 84人（H29）
延見学者数 1,102人（H28）、 1,176人（H29）

「ファブコンテスト」も市、（株）まちづくり三鷹等で共催

父親の育児参加を支援する事業→まだまだ参加者は少数

◆両親学級

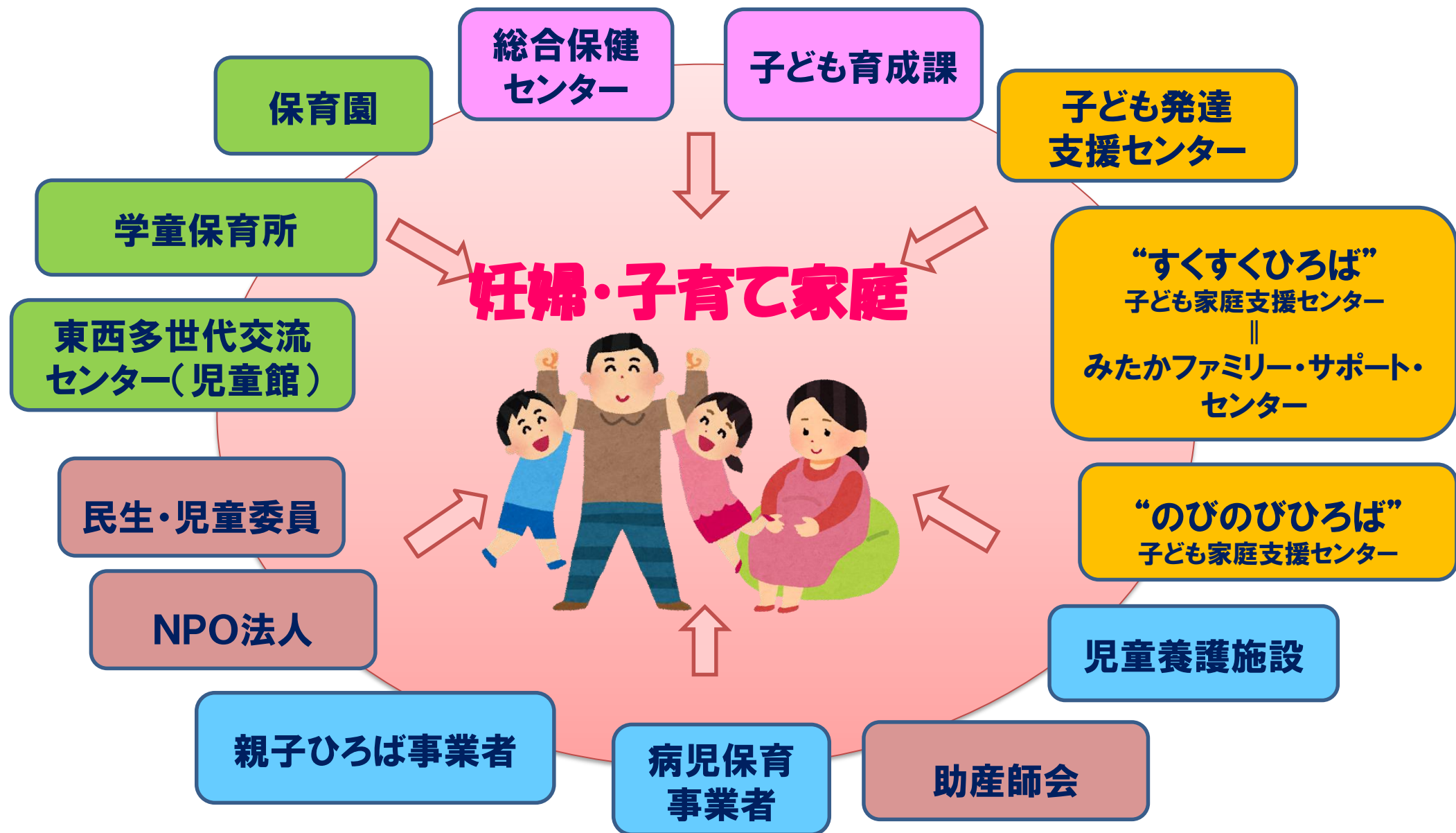
◆育メンスタート講座：三鷹市助産師会との協働

生後1, 2か月の子どものいる父親対象
講話とグループワーク

◆3 menパパの子育て法：「イケメン・育メン・域メン」

	講座名	実施日	定員（組）	申し込み数 （組）	参加数（人）		
					大人	子ども	合計
30年度	パパと親子体操	6月2日	15	17	14	14	28
		11月7日	15	15	14	14	28
	「育メン」スタート講座①	7月7日	10	11	9		9
		9月8日	10	11	9	9	18
	「育メン」スタート講座②	1月19日	10	11	10		10
		2月23日	10	11	9	9	18
	ワークショップ「3 men パパの子育て法」	1月26日	15	14	13	13	26

3. 多様な子育て支援の担い手の活躍



乳児家庭全戸訪問「こんにちは赤ちゃん」事業

- ・ 対象：概ね4か月までの乳児のいるご家庭
- ・ 訪問：**地域の民生・児童委員**がご家庭を訪問
- ・ 目的：子育てに関する情報提供
乳児訪問との連携強化
子育て家庭の孤立化の防止
一人親の支援の契機と充実



ブックスタート(絵本)
セットプレゼント

■2017年度訪問実績

- ・ 訪問件数： 1,450件
- ・ 訪問率： 91.9%

赤ちゃんにも会えた率：54.1%

多世代交流センター(児童館を含む)の展開

ー地域の大人がー

じゅく

学びの世界を広げ・深めよう

生涯学習センターと連携した生涯学習事業の場・活動スペースの提供

ー赤ちゃん・子どもがー

- ・利用者支援事業ひろば事業など
- ・多様な「遊び」の提供
- ・放課後の過ごし方の提供

すこやか

未来を見据え生き方探ろう

ー若者同士がー

困難のある若者支援就労への支援など

のびのび

様々な世界を広げよう

多世代による学びの循環

「コミュニティ・スクール」を基盤とした小中一貫教育

○2003年4月「三鷹市小・中一貫教育校基本計画検討委員会」設置

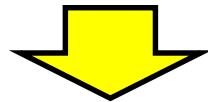
○2006年4月三鷹市初の小・中一貫教育校（にしみたか学園）

○2009年9月全市展開

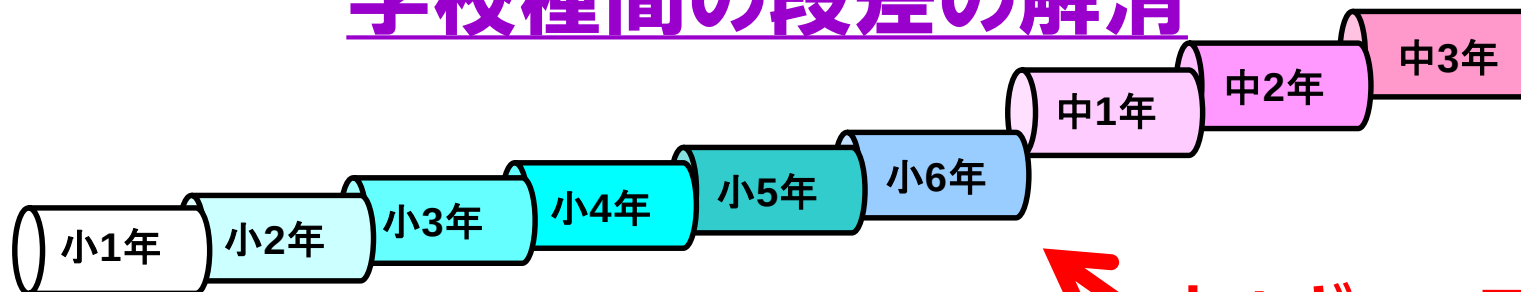
○市内7中学校及び15小学校を7つの学園に編成し、学園としての教育課程編成・

届出・実施・カリキュラム

○学園単位での行事、教員の相互乗り入れ授業等の学校間の交流プログラム



学校種間の段差の解消



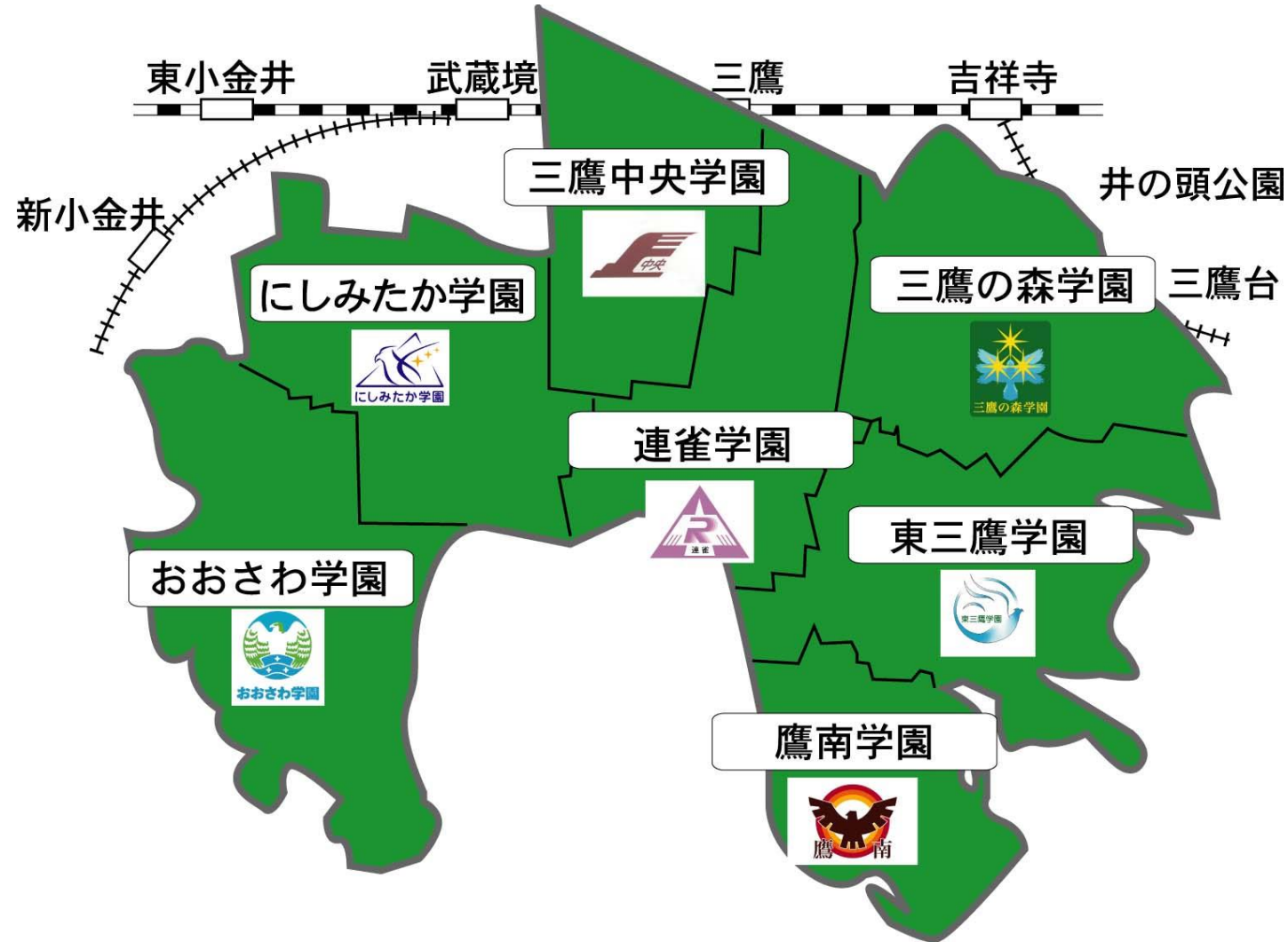
← 中1ギャップの解消！

「コミュニティ・スクール」を基盤とした小中一貫教育

平成18年 1学園
平成20年 3学園
平成21年 3学園

全7学園

三鷹市立小学校 15校
中学校 7校



4. 求められる施策の方向性

市民満足度の高い子ども子育て支援サービスの向上

「協働・連携」

ソフト

「業務での連携」

ハード

「施設間の連携」

例：妊婦健診、乳幼児の予防接種、保育園等の利用、障がい児支援
虐待事例の支援、里帰り出産のストレスの緩和、感染症の予防及び対策など

自治体間連携

国によるナショナル・ミニマムの保障
地域を越えた連携を可能とする国の支援

国・都道府県・市町村の連携で進めるべき施策の方向性

1. 妊娠中から、赤ちゃんを迎える家族が健康で安心して過ごせるための条件整備

- ◆妊婦健診、予防接種等の里帰り出産を含む支援の拡充
- ◆子どもの医療費の無償化のナショナル・ミニマム化
- ◆産科・小児科の医師、助産師等の養成と確保
- ◆父親の出産への理解と育児参加を促す学習機会の拡充
- ◆出産や育児に関する適切な情報提供
- ◆子育て世代の交流機会の確保

2. 子育て支援の充実

- ◆保育園、幼稚園、こども園、学童保育等の待機児解消
- ◆保育園等における幼児教育・保育の質の充実
- ◆保育施設等の第三者評価の拡充
- ◆保育士等の人材養成と確保及び所得保障と研修の充実
- ◆産後ケア、育児支援ヘルパー、一時保育、ファミリー・サポート等の担い手の多世代化と充実
- ◆予防接種の拡充と国の補償による自治体負担の軽減
- ◆子ども家庭支援ネットワークによる関係機関との連携強化

3. 子育てに時間を十分に活かせる働き方の推進

- ◆男女を問わない育児休業の保障と育児休業取得が不利にならない育児経験を活かせる職場づくり
- ◆起業やテレワークの条件整備
- ◆育児休業取得を促進するため保育施設の1・2才児定員の拡充

4. 幼児教育・保育の無償化

- ◆自治体の財政負担、事務負担の軽減化と円滑な実施に向けては自治体との対話を

協働による出産や子育てしやすい地域社会の実現
子育て支援政策と労働政策を総合的に推進